



### Introduce

#### 木村 有斗



偉大なる地震工学研究室の卒業生の皆さんお元気でしょうか？新キャプテンに就任いたしました木村有斗です。長岡工業高等専門学校の専攻科より編入してきました。高専では橋梁の地震時挙動についての解析を行っており、東日本大震災の被災経験もあるため、地震工学についての知識も深めたいと思い、編入を決意しました。地震研は、研究室と思えないような家族のような雰囲気の研究することができ、留学生もいることで国際交流もすることができるような攻守ともに非の打ちどころのない研究室だと思います。

さて、本ニュースレターは2号目ということで、毎年作る人の個性によって内容が変わり、楽しんでいただけるような物を作成していきたいと考えています！リクエストあればお待ちしております！

今年は、最後の一年にすることができるように研究活動にも精を出し、地震大国である日本の防災に少しでも力になれるように努力していきたいと思います。

最後に、卒業生の皆様には本学の近くに来られましたら、是非お立ち寄りお待ちしております。さらに、差し入れに関してはいつでもお待ちしております。よろしくお願いたします。

### はじめに キャプテンより

### 新メンバー 自己紹介

#### B4

#### 安達 和希



この度、地震工学研究室に配属された安達和希です。出身は北海道旭川東高校普通科です。音楽を聴いたり散歩したりすることが好きです！

最近では、読書を趣味にできるようにお店で気になるものを探したり、本を読んでいます。休日は友達とカフェやご飯屋さんを開拓しに行ったり、時々ライブハウスに出演しています。これからの学生生活を有意義なものにできるよう、やる時はやる、遊ぶときは遊び、けじめを大切に精一杯頑張ります！

#### 武藤 夏歩



新しく地震工学研究室に配属された武藤夏歩です。長岡工業高等専門学校出身です。卒業研究では、市民が橋梁を簡易的に点検できるシステムについて研究していました。社会インフラの維持管理や自然災害への対策に興味があるので、地震研での研究を通して理解を深められたらと思っています。バイトのない日は、大学の友人とごはんに行ったりドライブしたりしています。また、ピアノが好きでコンサートに行くのが楽しみです。勉強も遊びも充実した大学生活を過ごせるように頑張ります！

#### 西尾 陽丸



この度、地震工学研究室に配属されました、西尾陽丸です。

出身は愛知県にある瀬戸西高校で普通科の出身なので研究などにはまだ経験がないため先輩や先生方の力を借りながら成長していきたいです。

このニュースレターは卒業生の皆様向けということですが、まだお世話になったのは応用力学2や測定のTAでの一部の方だけなので今後、研究室の活動やイベントでお会いする機会があれば、お話しできることを楽しみにしています。

#### TSOGTBAYAR NYAMTUUYA



ツォグトバヤル・ニヤムトヤです。みんなからはナナと呼ばれています。モンゴル科技術大出身で、3年生から長岡技術科学大学に編入して来ました。中学校のころ、君の名はというアニメを見て、日本の文化、生活などが気になって、日本へ行きたいとおもっていました。

高校からスポーツが好きで、バレーボールと水泳のクラブに入っています。私は好奇心が強く、色々なことを探したり、やってみたりするのがとても好きです。

#### 齊藤 竜也



皆さん初めまして！4月から地震研に所属になりました齊藤竜也です。

福島高専から編入してきました。趣味はバスケットで、バスケット部に所属しています。そこで先輩から話を聞いて地震研が楽しそうだと思い研究室を選びました笑。実務訓練やインターンシップでは皆さんにお世話になるかもしれません。その時は迷惑をかけると思いますがぜひよろしくお願いたします！

#### 研究生

#### 刘 有哲



私の名前は劉有哲（リウ・ユウテツ）といいます。中国の遼寧省出身で、大連海洋大学を卒業し、土木工学を専攻しました。2022年4月に日本に来て、現在は長岡技術科学大学で研究生に在籍しています。大学での学びが順調に進み、卒業後に日本での就職が実現することを願っています。趣味は映画鑑賞とビデオゲームで、好きな映画は「Detachment」と「Little Women」で、時々Dota2をプレイします。

#### 助教

#### 志賀 正崇



今年4月から地震工学研究室に助教として着任した志賀正崇です。横浜国立大学で学士、修士を取得後、東京大学で博士を取得しまして、2年間助教として勤務したのち、長岡技大に着任しました。

過去の研究は主に要素試験と地震被害調査をメインにした研究を行ってきました。学生時代からお付き合いのあった地震工学研究室で仕事を頂けることは大変光栄に思います。ただ、まだまだ一人前の研究者として勉強や訓練が足りないため、この地震工学研究室でさらに色々なことを学生とスタッフの皆さんから吸収していけたらと考えております。

Hello! I am Masataka SHIGA and I have been assigned as Assistant Professor of Earthquake Engineering Laboratory in NUT. I received bachelor's and master's degrees from Yokohama National University, and Ph.D. degree from University of Tokyo in 2019. Prior to this assignment, I had been working in the Institute of Industrial Science of UTokyo for the past two years. I am looking forward to learning a lot in such a wonderful and nice research environment to become an independent researcher.



## 巡検調査・合同ゼミ

昨年11月2日から11月4日にかけて、3大学1高専（長岡技術科学大学、室蘭工業大学、東京大学、群馬高専）参加の「合同ゼミ」を行いました。

11月2日は、地震工学研究室での「巡検調査」を行いました。今回は2019年に発生した千曲川の決壊部分の見学を行い、それぞれの防災意識や堤防の重要性を学ぶことができました。さらに堤防の建設現場に足を運び、バックホーの操縦が機械化されているIoT土木の現状も知ることができました。

翌日には、群馬の草津温泉近くのホテルでの合同ゼミを行いました。それぞれの研究概要を発表し、様々な分野の視点に基づく意見交換をすることができ、とても充実したゼミになりました。そして、昨年から新たに東京大学の清田研究室のメンバーも参加したことから、研究室間の仲を深める貴重な機会にもなりました。

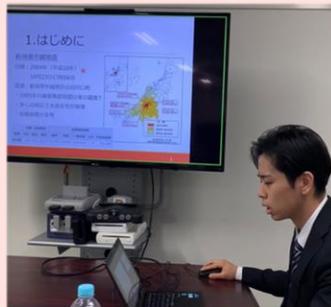
最終日には、草津温泉のpH値を支えている品木ダムの水質管理所の見学をしました。品木ダムは源流との中和のために石灰が投入され、その反応物である中和生成物の貯留が目的とされています。秋には紅葉が綺麗とのことでしたので、皆さんも是非見学してみてください。（木村）



## 研究調査発表会

11月16日に開催された土木学会新潟支部研究調査発表会に参加しました。私自身が旧カリということもあり、研究室以外で研究発表をする機会も聞く機会も初めての経験でした。外部の方からの鋭い意見や違った観点の意見から、研究の意義や方向性を見つめ直す良い機会になりました。また、研究室以外の発表を聞くことで、自身の研究の内容や発表のクオリティについて刺激を受けました。

このことから、研究室での発表や質疑応答の質が上がり、活発な意見交換が行われております。（大矢）



## 山形県小岩川調査

昨年12月11日、12日に山形県小岩川地域の現地調査を行いました。内容は対象地域の地盤特性の再調査、妥当性検証のために4測線で常時微動探査を行いました。私自身、物理探査を行うことが初めてで、小野寺さんと蓮岡さんにご指導いただきながら行いました。解析は研究で行っていましたが、実際に物理探査を行うことで誤差やデータがどこまで正しいのかなどについて気付かされました。

また、非常に気温が低く天気も良くなかったため、山口さんが温かいコーヒーを淹れてくださり、生き返ったことを覚えています。（大矢）



## 卒業・修了式について

小野寺さん、蓮岡さん、エマさん改めましてご卒業おめでとうございます！

卒業論文および修士論文のタイトルは

小野寺：【2019年山形県沖の地震(M6.7)における津波シミュレーション】

蓮岡：【2次元等価線形化法を用いた地盤傾斜基盤が地表地震動分布に及ぼす影響-2019年山形県沖の地震を対象に小岩川地区の被害評価-】

エマ：【モンゴルにおける地震危険度評価に関する基礎的研究】

皆さんの研究に対する前向きな姿勢を今年度の新メンバーを加えた地震研究室でも受け継ぎ、なお一層池田先生が大事にしておられる、メリハリのある学校生活を過ごせるように頑張って参りますので、応援の程よろしく願いいたします。（安井）



## Afterword

- 今回の編集はM2が力を合わせて作りました。何よりの収穫は、作成を通してNew Memberと関わることでその人と成りを知ることができたことです。作成にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。（M2 大矢）
- 昨年から始まったNewsletterですが、自分自身卒業してから母校の研究室を知ることができるというのは温かいなと感じています。今回は新しいメンバーにフォーカスをして作成しましたが、今後コンテンツを充実して全員にスポットがあてられるような物に進化していったらと思います。（M2 木村）
- 昨年度のイベントの振り返りをすることができ、懐かしいなと思う部分が多々ありました。今年度も去年度に負けなくらい研究室メンバー全員で楽しんでいけたらと考えています！（M2 安井）